

地域とともに 豊かな心をもつとがみっ子

～かかわりを大切にした学びを通して～

1. 主題について

ぼくは、大造じいさんの話し合いが得意です。みんなの話し合いを聞いて、新しいことを知るのが楽しいです。自分の思っていることと違うことが聞けるのが面白いので、今日出る意見が楽しみです。

(5年 国語 生活日記より)

学習をする前は、何も知らずに、ミカンを食べていました。今では農家の人のもちやミカン作りの工夫などを思いながら食べています。ぼくにとって農家の方は、「みんなのことを思ってミカンを作るヒーロー」です。

(3年社会 振り返りより)

本校では、これまで、魅力ある単元の構想や授業づくり、ICT 機器の活用などを通して、上記の児童のように、友だちと学ぶことの楽しさを知り、主体的に学びに向かう子どもたちの姿が多く見られるようになった。また、3年生では「蒲郡ミカン」を教材として、地域の人とともに学びを進めていったことで、新たな考えに触れ、地域の人やもののすばらしさに目を向ける子どもが増えてきた。そんな子どもたちの、他の考えを受け止めるあたたかい心や、本気になって追究し、学びに夢中になれる心をさらに育てていきたいと願った。

そこで、今年度は、地域の魅力ある「ひと・もの・こと」とのかかわりに注目し、地域のよさを生かした研究を進めていきたい。地域とともに学びを進めることで、子どもたちの学びを深め、学びを生かそうとする力を伸ばしていけるのではないだろうか。今後、予測困難な未来を生きていく子どもたちが、社会や人生をよりよいものにしていけるよう、地域と連携した教育のあり方を探っていきたいと考え、本研究主題を設定した。

2. めざす子ども像

地域とともに 豊かな心をもつとがみっ子

- ・ 地域のよさに触れ、興味をもって、自ら学びに向かう子
- ・ 友だちの考えを受け止め、自分の考えを深める子
- ・ 自己の成長を感じ、生き生きと学びに取り組む子

低学年

地域に興味をもち、進んで知ろうとする子

中学年

地域とかかわり、自分の学びを深める子

高学年

地域とつながり、学びを生かして行動しようとする子

特別支援

身近な人とかかわろうとする子

3. 研究の仮説と手だて

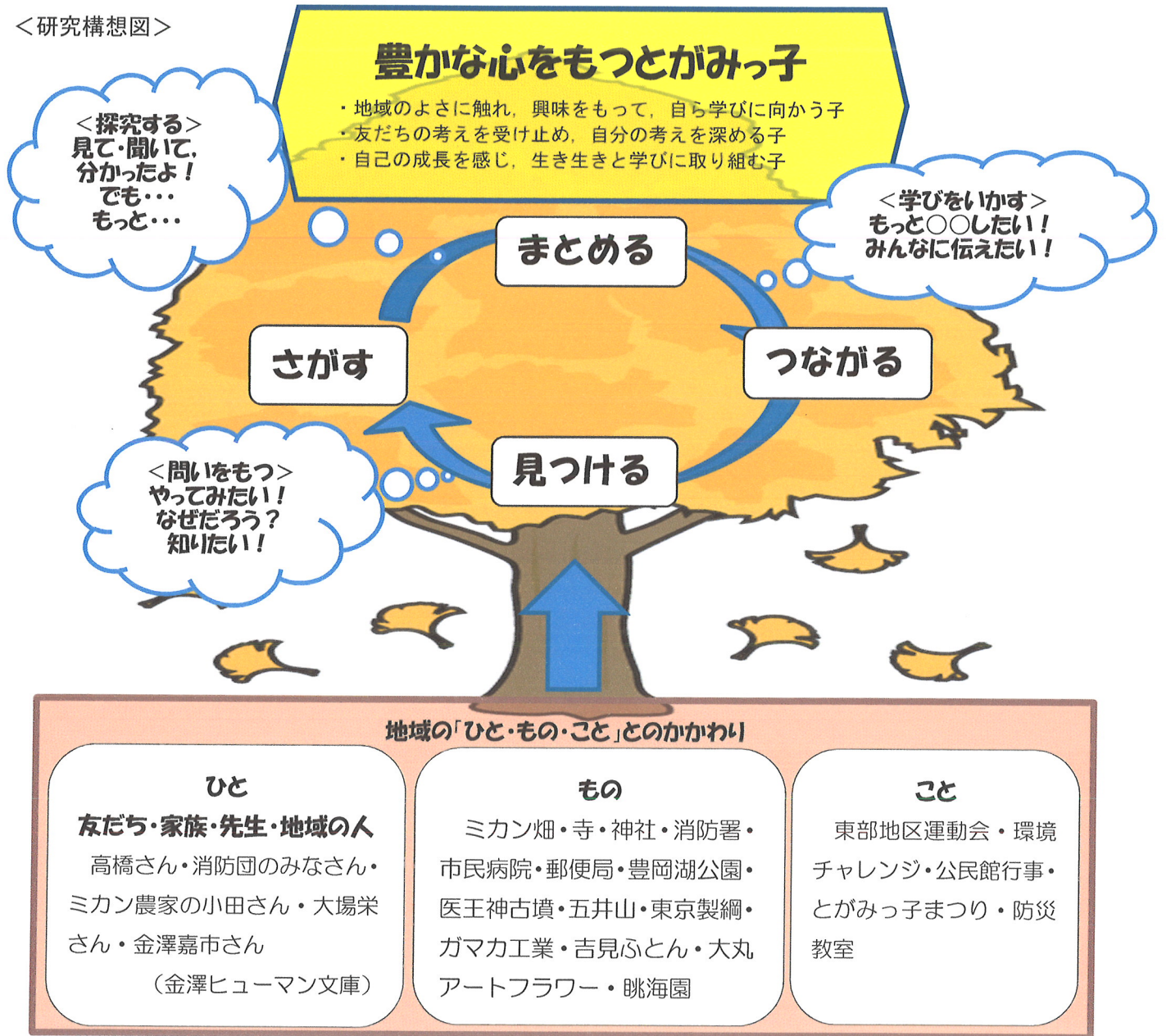
<仮説>

仮説Ⅰ 地域の魅力的な「ひと・もの・こと」との出会いを仕組み、子どもたちの「やってみよう」「なぜだろう」という思いを引き出し、子どもたちが自ら解決したい問いをもつことができれば、興味をもって自ら学びに向かうだろう。

仮説Ⅱ 体験的な活動を仕組んだり、一人調べの時間を十分に確保したりして、学びに浸らせることができれば、「聞いてみたい」「もっと知りたい」という思いが生まれ、子どもたちは、友だちの考えを受け止めながら、自分の考えを深めることができるだろう。

仮説Ⅲ 学びを生かす場を設定し、新たな考えを知る楽しさや他から認められる嬉しさを感じることができれば、子どもたちは、自己の成長を感じ、新たな課題に向かって、生き生きと学びに取り組むことができるだろう。

<研究構想図>



<手だて>

手だてⅠ 見つける	手だてⅡ さがす	手だてⅢ まとめる・つながる
<ul style="list-style-type: none"> ・問いを生む出会わせ方の工夫 ・興味を引く教材の開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをもつための一人調べの充実 ・体験的な活動の充実 (見る・聞く・やってみる) ・自分の考えを見直す場の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えを整理し、深める話し合い活動 ・学びを生かす場の設定 ・自分のよさや可能性を実感するしかけ